

第27回恩原高原

氷紋まつり



2月2日(土)恩原高原スキー場において第27回恩原高原氷紋まつりが開催され、町内外から約13,000人(主催者発表)が訪れました。

今年は豊富な積雪に恵まれたこともあり、会場内には過去最大級の大雪像の特設ステージが設営され来訪者を出迎えました。今回は「かみ山の山村回帰」をテーマに、かやぶきの民家や町のマスコットキャラクターの「みずりん」「おゆりん」が制作され、その前で記念撮影を楽しむ来場者で賑わっていました。

会場では、「うらじゃ」や「ソーラン鏡野」による踊りやビンゴゲームといったステージイベントの他に、雪の中に埋められた宝を見つけ出す「宝探し」やタイムを競う「そりすべり大会」、3人1組のチームで争う「雪合戦大会」が行われていました。雪合戦大会には各地から12チームが出場し、コート内の壁に隠れながら雪玉を投げ合い、白熱した戦いを繰り広げていました。

ファイナルでは、5,000発以上の花火とレーザー光線の競演が白銀のグレンデと夜空を幻想的に彩り、氷紋まつりを色鮮やかに締めくくりました。

